

毒性評価文献の範囲

目標値の導出を行う毒性評価文献の範囲は以下のとおりとした。

淡水域

漁獲量の多い魚介類：我が国全体で漁獲量が上位 20 位以内に含まれる魚介類

漁獲・放流されている河川の多い魚介類（河川）：国土交通省「河川水辺の国勢調査」において漁獲・放流されている河川数を集計し、上位 20 位以内に該当する魚類及びその他の生物。

養殖対象種：漁獲統計資料に養殖対象として計上されている全ての魚介類。

その他、元来我が国に生息する水生生物で、かつ、通常の実験等に供される水生生物種（例：OECDテストガイドライン推奨種の一つであるメダカ）

海域

漁獲量の多い魚介類：我が国全体の魚類漁獲量のうち上位 20 位以内に含まれる魚類及び我が国全体の漁獲量のうち上位 20 位以内に含まれる魚類以外の水産生物。

放流量の多い魚介類：魚類、甲殻類、貝類その他の魚介類で我が国で放流されている個体数が上位 5 位以内に含まれるもの。

養殖対象種：漁獲統計資料に養殖対象として計上されている全ての魚介類。